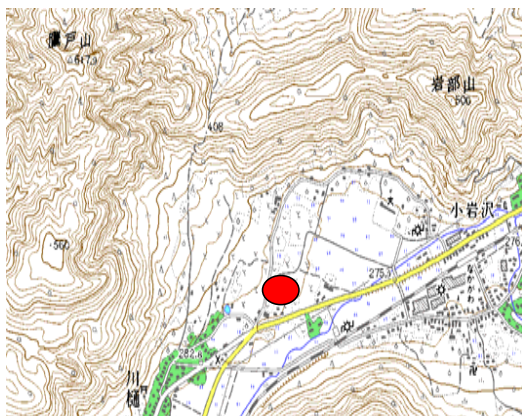


天矢場遺跡(前期調査)調査説明会資料

調査要項

遺跡名	天矢場(てんやば)遺跡
遺跡番号	平成18年度登録
所在地	南陽市川樋宇天矢場
調査委託者	国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所
調査原因	一般国道13号上山バイパス改築事業
調査面積	4,500㎡
現地調査	平成19年5月17日～7月12日(前期)
遺跡種別	集落跡
時代	縄文時代・中・近世
遺構	掘立柱建物跡・井戸跡・溝跡・陥穴(土坑)
遺物	縄文土器・石器・陶磁器
調査担当者	調査課長 長橋 至 専門調査研究員 伊藤邦弘 主任調査研究員 須藤孝宏(調査主任) 調査員 伊藤純子
調査協力	置賜教育事務所・南陽市教育委員会

2007年7月17日(火)
財団法人山形県埋蔵文化財センター



遺跡位置図

1 調査(遺跡)の概要

調査は、一般国道13号上山バイパスの改築事業(中川工区)に伴う緊急発掘調査として行われました。昨年度、山形県教育委員会による試掘調査が行われ、本遺跡が確認・登録されました。その結果、事業区内の4,500㎡について記録保存が必要となり、(財)山形県埋蔵文化財センターが国土交通省から委託を受け、発掘調査を行うことになりました。

調査区のほぼ中央を横切る道路の付け替え工事が必要とするため、この道路を境に南東側半分を先行して調査し、その後道路の付け替え工事の完了を待ち、北西側半分を調査することとしました。前期調査区は東西に走るもう一つの道路を境に、便宜上北側からA区・B区の2区画に分けて、①重機による表土除去、②遺構検出、③遺構精査、④記録という工程で調査を進めました。

2 立地と環境

天矢場遺跡は、JR中川駅から西へ約500mのところ、南陽市北東部の川樋地区に位置しています。鷹戸山と岩部山に囲まれた緩やかな傾斜地で、標高は285m程です。現在は、畑地になっています。

また、周辺には、縄文時代晩期の集落跡と考えられている岩谷堂遺跡、平安時代の集落跡と思われる加藤屋敷遺跡、江戸時代に金毛和尚によってつくられた岩部山三十三観音などがあります。



A区全景【北東から】



B区全景【南西から】



A区面整理作業【南東から】

3 遺構と遺物

検出された遺構には、掘立柱建物跡・井戸跡・溝跡・陥穴をはじめとする土坑などがあります。

A区では井戸跡や溝跡、柱穴群が検出されました。井戸跡は標高の低いA区東半部を中心に合計7基検出されており、全て素掘りのものです。大きさは検出面の直径で約2m～1m30cm、深さが70～60cm程です。底面からは、遺跡の北西側に位置する白鷹丘陵に降った雨が伏流水となって湧き出しており、井戸が利用されていた当時から豊かな水を確保できていたことが分かります。縄文土器片や須恵器片が出土した井戸跡もありますが、流れ込んだ可能性もあるため、これら井戸跡の正確な時代は不明です。

溝跡も標高の低いA区東半部で比較的多く検出されています。埋土から、陶器片・磁器片が出土していることから、検出された溝跡の多くは中・近世のものであると思われる。

柱穴群は比較的高いA区中央から西側に密集して検出されており、全部でおおよそ800基になります。掘立柱建物を構成する組み合わせは、現在確認中です。

B区では掘立柱建物跡、井戸跡、陥穴などが検出されました。掘立柱建物跡は、中央に2間×2間の総柱建物跡、北西角に3間×1間の建物跡の合計2棟を検出しています。遺物が出土していないため時代の特定はできませんが、柱の間隔や構造から中・近世のものであると推測されます。

陥穴と推測される土坑は、B区西部に合計4基検出されています。大きさはいずれも約1.5m×0.8m程で、検出面より底面のほうが広く掘り込まれています。いずれも向きを同じくした状態で、3～4mの等間隔を置いて配置されています。遺跡の北西に位置する白鷹丘陵から、南東に位置する前川の水を飲みに降りて来た動物たちを捕まえようとして、ここに掘られたものと推測されます。

遺物は、縄文時代・中世・近世の各時代のものが出土していますが、出土数は少量で、大半は破片です。縄文時代中期から後期にかけての土器片や鎌、中世・近世の陶磁器片(碗・壺・すり鉢など)が主たるものです。

4 まとめ

天矢場遺跡は、試掘段階では平安時代の集落跡と考えられていましたが、現時点ではむしろ縄文時代の狩猟の場、加えて中世・近世の集落跡であったと捉えるのが妥当であろうと思われます。今のところ2棟の掘立柱建物跡を確認していますが、800～900基という柱穴を検出していることから考えて、さらに何棟かの建物が建っていたことが推測されます。今後遺構配置図を検討し、建物跡の所在を明らかにしたいと考えています。

今回明らかにならなかった事柄については、続く後期調査の内容、さらに隣接する加藤屋敷遺跡・岩谷堂遺跡との関連も考慮して再検討していきたいと考えています。



A区井戸跡(SE151)・溝跡群【南から】



A区北東部溝跡・井戸跡群【南東から】



B区掘立柱建物跡(SB100)【北東から】



B区縄文土器出土状況【南西から】

天矢場遺跡A・B区遺構配置図



B区から出土した浅鉢



土坑(SK433)から出土した深鉢底部



柱穴から出土した中世陶器片



A区北東部溝跡・井戸跡・土坑群



B区陥穴4基並列状況



溝跡(SD424)から出土した中世陶器片



溝跡(SD1014)から出土した鉢